

乳がん検診を受けていますか？

女性なら誰でもかかる可能性が高いがん、それが「乳がん」です。

《乳がんプチ知識チェック》

正しいと思うものに○、間違いと思うものに×を付けてください。正解は裏面へ…

- 1. 触ってもしこりがなければ、乳がんの心配はない
- 2. 乳房が小さいから、乳がんの心配はない
- 3. 乳がん検診は婦人科で受ける
- 4. マンモグラフィ検査で「異常なし」なら、乳がんの心配はない
- 5. 乳がんは、おばあさんになったらかからない病気
- 6. 家族や親族に乳がん患者がいない人は心配なくていい

日本で乳がんにかかる人は、
20人に1人。



乳がんから守るためには、
検診をきちんと受け、がんが
小さい早期で発見することが
重要！

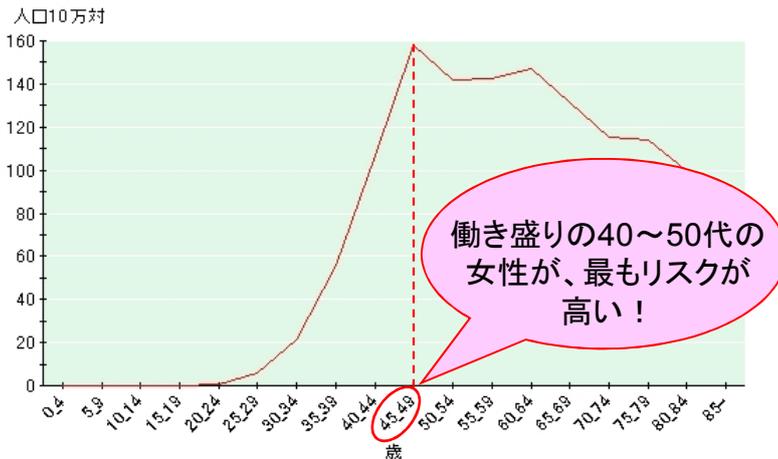


当院のぬくもりあるマンモグラフィ検査室

2006年度から、乳がん検診は、「40歳以上の女性に対し、2年に1回視触診及びマンモグラフィによる併用検診」が厚生労働省より推奨されてます。

★当院、健診センターでも実施しています★

乳がん罹患(病気にかかること)率 ~2004年~



働き盛りの40~50代の女性が、最もリスクが高い!

乳がん検診の受診率は、北海道11.8%、全国平均20.3% (H20年度)。

ちなみに、お隣の韓国は45.8%です。

何も症状がない、私は元気だ、がんじゃない! という時期に定期的に検査する



早期発見する⇒がん検診をする
早期がんは、90%以上治ります。

資料: 国立がんセンターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services, National Cancer Center, Japan

《乳がんプチ知識チェックの答え》

1. ✕ 触ってわかるしこりは、一般的に1~2cm以上。その大きさでは既にリンパ節などへの転移がある可能性も。またしこりを形成しない乳がんもあります。
2. ✕ 乳房の大きさには全く関係ありません。男性の乳がんもあります。
3. ✕ 乳がんの検診や検査は、乳腺専門の医療機関やマンモグラフィ検診を実施している施設(旭川市は11施設)で受けましょう。
4. ✕ 乳腺が発達している人、特に閉経前の乳房はがんがあっても見つけられない場合があります。その弱点を補うのが超音波検査です。
5. ✕ 高齢者で多い欧米とは異なり、日本は40~50歳代の年代が最も乳がんにかかる人数が多いです。
6. ✕ 家族や親族に乳がんになった人がいる方は、いない人より乳がんを発症するリスクが2~4倍高くなることがわかっています。

旭川市の助成で受けられる乳がん検診は、H22年3月31日現在で、満40歳以上の偶数年齢の女性が対象です。

40歳代: ¥900

50歳代: ¥700

国保加入者: ¥300

(年齢問わず)

治るがんを発見できるなら、乳がん検診を受けましょう!

■理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重した病院環境を造ります
2. 急性期医療を中心に診察を進めます
3. 救急医療の充実に努めます
4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療活動に貢献します
6. 職員の教育、研修を充実させます
7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療に関して知る権利
3. 医療行為を自分で選ぶ権利
4. プライバシーを保障される権利
5. 人権を尊重される権利
6. セカンドオピニオンを受ける権利